

いきものを自分達で見つけて直接触れ合う貴重な体験！

令和4年度 緑の少年団交流集会『わくわく！いきもの探検隊』活動レポート

10月1日（土）に公益財団法人静岡県グリーンバンク主催による『緑の少年団交流集会 わくわく！いきもの探検隊』が、静岡市遊木の森で開催されました。当日は、9月23日の台風の影響で開催が危ぶまれていましたが、無事に開催する運びとなりました。天候にも恵まれ23名の子供たちが参加しました。

スタートは楽しいチーム分けから！

午前9時30分、遊木の森はらっぱ部に集合し、はじまりの会からスタート。運営に当たるエコエデュのスタッフから挨拶、スタッフ紹介があり、当日の注意事項等の説明の後、アイスブレイクとチーム分けが行われました。チーム分けにも仕掛けがあり、事前に渡された封筒の中に、グループのイラストのピースが入れてあり、ジグソーパズルのように同じ絵柄ピースを持つ仲間を見つけ組み合わせることで1つのチームが出来上がるという形でした。子供たちは同じ絵柄のピースを持つ子を見つけると、とても嬉しそうにピースを組み合わせていました。イラストが仕上がると今日見つけるいきものテーマである「かまきり」「テントウムシ」「なでしこ」「きのこ」「鳥」の5チームができ、早くもチームワークが生まれているように見受けられ、楽しみながらチーム分けができる良い工夫であると思います。



受付にて消毒と検温を実施



チーム分け中

チームに分かれていきもの探し！

チームができたら、仲間でチーム名を考えてより結束が深まったところで、いよいよいきもの探しに出発です。スタッフから、「いきものがどんな場所にいたか、どんなところにはえていたか、匂いを嗅いだり、触ったり、音を聞いたりなど細かく虫メガネを使ったりして観察してね。」という話を聞いた後、各チームがそれぞれのテーマのいきものめがけて勢い良く歩きだしました。虫を見つけるチームは、虫籠と網を持って、足元の草や背の高い草の中に虫がいないか探しまわります。「あ！バッタがいた。」「こっちはちょうちょ。」と虫を見つけては捕まえようと必死になりますが、なかなか思う様には捕まえられません。「今日絶対にカナヘビを捕まえたい」女の子が言いました。「カナヘビって何？」と聞くと「カナヘビ知らないの？とかげみたいなの。」「とかげじゃ虫じゃないね。」そう言うと女の子は「いいの！虫も捕まえるけど、カナヘビも捕まえるの！」そう言うと草むらの中に入って行きました。男の子はバッタを捕まえて虫籠の中へ。「足の元が太くて、先が細い。」とじっと観察していました。「キリギリスがいた！」キリギリスを捕まえた子が自慢げに見せてくれました。原っぱを一通り探した後、木の下や石をめくって虫を探します。腐った木を持ち上げるとそこにはダンゴムシの大群が…。「うわー！凄いいっぱいいる！！！」と歓声が湧きました。さっきまで平気で虫を捕まえていた子が「ダンゴムシ嫌い。」と言って後ずさりする姿も。スタッフが「場所によっている虫が違うよね」と言うと「石とか木の下にはミミズとかダンゴムシとかがいるんだよ。」「足がいっぱいあるやつもいる。」とすかさず子供たちが答えていました。



五感で感じよう！



いきもの探し開始！



小さな傷も心の栄養！

お昼の後、虫チームが午前中とは違う草むらで虫を探しているとイネ科の植物で指を切ってしまった男の子がいました。すぐにスタッフが処置をしました。私が「大丈夫？痛くない？」と聞くと「大丈夫だよ。」という返事。そこにスタッフが「そのくらいの小さな傷は心の栄養だから大丈夫、大丈夫！」と声を掛けました。今の子ども達は草で手を切ってしまうというようなことは少ないように思います。今回のように自ら痛みを感じることも心を育てることに繋がると思うので、スタッフの言葉が心に残りました。虫を探す中で、青いつゆ草を見つけた子は、花びらを摘み爪に擦り付けて爪が青く染め、嬉しそうに爪を見せてきました。このように、自然を身体で感じることはすばらしい経験だと思います。



色々ないきものを発見！

2時間半程のいきもの探しを終え、子供たちが集合場所に戻ってきました。みんな色々ないきものを発見できたようで、とても良い顔をしていました。あらかじめ用意してあった大きな紙の中の森や草原に、それぞれのチームが発見したものをポストイットに書いて貼っていきます。きのこチームは実際に採ってきたきのこをテープで貼り付けます。固く大きなきのこや変わった色のきのこなど見たことのないようなものもありました。鳥チームは、見た鳥や鳴き声を貼り、草花チームは採ってきた花や草を貼り付けます。虫チームは実際に捕まえてきた虫しながら絵を書いて貼り付けていきます。大きな紙の森や草原があつという間に標本のようにになりました。



色々採ってきたよ！

チームごとに成果を発表！

最後に各チームごとに見つけてきたものを発表しました。「紅茶の香りのするキノコを見つけたり、きのこは腐った木の所や日当たりの悪い所にあることがわかった」「玉虫のきれいな羽を木の根元で見つけた。どうしてそこにあったか推理してみたけど、たぶん蟻が運んで来たんだと思う」「ミミズを主食にするクロウサ虫を見つけてミミズを入れて見たけど食べてくれなかった。」「大きい蜘蛛と小さい蜘蛛がいてだぶんオスとメスと一緒に暮らしているんだと思った」「鳥を見つけるのは難しかったけど、声が聞こえた」「かわいい花が咲いていたり、名前はわからないけど、オレンジの実が採れた」「色々ないきものが生きていくためには、太陽があることが大切だと思う。」など様々な感想が聞かれました。用意されたものを観察するのではなく、自ら探し、発見して観察することで新しい発見があったようでした。森の中には、色々ないきものが存在していて、多様性が大切であることも学べた貴重な1日だったと思います。

このような自然と直接触れ合う経験をより多くの子供達ができるようになると良いと思います。



肉食虫 × ミミズ



今日の成果を発表中！



最後にパチリ